業務損益	△ 74,149	△ 22,580	△ 61,819	211,455	52,906	75,938	128,844
土地	9,803,781	7,625,163	25,598,761	5,446,545	48,474,251	10,662,831	59,137,083
建物	3,034,933	1,606,892	3,852,728	685,947	9,180,502	17,114,627	26,295,129
構築物	203,218	7,674	5,357,348	21,604	5,589,845	16,267,193	21,857,039
工具器具備品	583,095	2,202,239	5,738,129	3,488,342	12,011,805	29,442,422	41,454,228
建設仮勘定	1,745,482	969,713	21,053,988	8,583	23,777,768	10,096,548	33,874,317
現金及び預金	—	—	—	—	—	26,435,074	26,435,074
その他	36,585	3,268	126,195	57,045	223,094	2,313,498	2,536,593
帰属資産	15,407,096	12,414,951	61,727,152	9,708,067	99,257,268	112,332,197	211,589,465

① セグメント区分の方法　セグメントを業務に応じて４つに区分しています。

② セグメント毎の業務内容

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構組織規程に掲げる下記の各業務を行っています。

素粒子原子核研究所：高エネルギー加速器による素粒子及び原子核に関する実験的研究並びにこれに関連する理論的研究を行うとともに、関連する共同利用・共同研究を推進しています。

物質構造科学研究所：加速器により発生させた放射光、中性子、ミュオンなどの高性能ビームを用いた物質の構造及び機能に関する実験的、理論的研究を行い、共同利用を推進するとともに、これらの促進のために必要な技術開発を行っています。

加速器研究施設：各種加速器施設の建設・維持・運転を行うとともに、性能向上に関する開発研究及び将来計画に必要な開発研究等の総合的な研究を行っています。

共通基盤研究施設：機構全体の共通的基盤となる研究支援業務を行うとともに、研究支援に必要となる基盤技術の開発研究を行っています。

③ 業務費用のうち、機構共通は配賦不能の費用であり、その主なものは管理部門及びＪ―ＰＡＲＣセンターに係る経費です。

④ 帰属資産のうち、機構共通は各セグメントに配賦しなかった資産であり、その主なものはＪ―ＰＡＲＣセンターに係る資産です。

⑤ 各セグメントにおける減価償却費は以下のとおりとなっています。　（単位：千円）

	素粒子原子核研究所	物質構造科学研究所	加速器研究施設	共通基盤研究施設	機構共通	合計
減価償却費	274,254	656,349	1,301,460	1,283,575	4,656,867	8,172,506

⑥ 各セグメントにおける損益外減価償却相当額は以下のとおりとなっています。　（単位：千円）

	素粒子原子核研究所	物質構造科学研究所	加速器研究施設	共通基盤研究施設	機構共通	合計
損益外減価償却相当額	536,685	166,526	1,045,475	75,848	5,047,966	6,872,502

⑦ 損益外減損損失相当額は該当がありません。

⑧ 損益外利息費用相当額は該当がありません。

⑨ 各セグメントにおける損益外除売却差額相当額は以下のとおりとなっています。　（単位：千円）

	素粒子原子核研究所	物質構造科学研究所	加速器研究施設	共通基盤研究施設	機構共通	合計
損益外除売却差額相当額	—	—	—	0	790	790

⑩ 各セグメントにおける引当外賞与増加見積額は以下のとおりとなっています。　（単位：千円）

	素粒子原子核研究所	物質構造科学研究所	加速器研究施設	共通基盤研究施設	機構共通	合計
引当外賞与増加見積額	11,212	1,840	5,243	5,478	3,639	27,414

⑪ 各セグメントにおける引当外退職給付増加見積額は以下のとおりとなっています。　（単位：千円）

	素粒子原子核研究所	物質構造科学研究所	加速器研究施設	共通基盤研究施設	機構共通	合計
引当外退職給付増加見積額	△ 177,923	△ 65,694	△ 29,149	△ 257,389	△ 9,383	△ 539,541